

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	個人のプライバシーを保護するという意識を市民が持っている	
施策名	個人情報保護する	No.46

年度	平成28年度
責任部長	総務部長
主担当課長	行政課長
関係課	人事課、情報推進課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	実績値						目標値
		現状値						
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
プライバシーの侵害を受けたと感じた苦情件数(件)	→	990	918	510	569	661	605	913
		605	587	1,144	1,448	1,422		615
プライバシーの保護を意識している人の割合(%)	→	81.5	83.0	81.5	81.0	81.1	78.3	85.2
		78.3	81.4	81.2	80.9	81.9		88.5
過度なプライバシー意識のため、生活弱者に関する相談ができなかった人の割合(%)	→	19.7	13.1	12.4	12.6	13.7	10.8	16.7
		10.8	9.9	10.8	11.1	10.7		11.6

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

個人情報保護を巡っては、事業者の取り組みが進んできている一方、依然として大規模な個人情報漏えい事案が発生し、個人情報の取り扱いに関する国民の不安も高い状況にある。
また、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の誤解等に起因して、必要とされる個人情報の提供が控えられたり、プライバシー意識の高まり等を背景に、各種名簿の作成が中止されるなど、「過剰反応」と言われる状況も一部に見られる。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	B 停滞	個人のプライバシー保護に対する意識は市民の中で高まっており、むしろ過剰と思われるほどの反応がみられる。プライバシーの侵害を受けたと感じた人の件数は相談窓口の体制強化(相談員の増)によってほぼ倍増しており、今までも潜在的な苦情があったと考えられる。プライバシーの保護を意識している人の割合も横ばいであり、取組が停滞しているといえる。
------	----------------	---

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
個人情報保護の取組について市民が市を信頼している	市民が個人情報保護について正しく理解する		
個人情報保護事務	個人情報保護啓発事業		
情報セキュリティ対策事業			
職員研修事業			
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。		
評価	長期成果の設定は、市と市民の両面から捉えられており問題はない。また、各事務事業は個人情報の取り扱いに係る市の取組、市民の理解の向上に資する内容となっており、長期成果が導かれると考える。		
次年度の改善計画	プライバシーの侵害を受けたと感じた人の件数は、平成25年度から相談窓口の体制強化(相談員の増)によってほぼ倍増しているが、個人情報保護制度のWebサイトの閲覧件数は27年度に倍増しており、個人情報への関心は高まっていると考えられ、市としては引き続き各事務事業を推進していきたい。		

***** 市民からみた計画の進捗状況 □A □B □C

- ・A判定(改善傾向) 28%
- ・B判定(停滞) 46%
- ・C判定(悪化傾向) 26%

